

平成 30 年度第 1 回栗東市地域包括支援センター・地域密着型サービス運営協議会  
会議録要旨

日時・場所	平成 30 年 7 月 12 日(木) 15:00～17:00 栗東市役所 4 階 第 3・4 委員会室
出席委員	樋上雅一委員、堀紀彦委員、渡邊佳子委員、市木圭子委員、富永健二郎委員、船元美穂委員、宮武恵委員、高田佐介委員、安井明子委員、口村淳委員、井上かおり委員、松浦さゆり委員（西村尚子氏が代理出席）。  (12名)
欠席委員	なし
事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 市民憲章唱和</li> <li>3 あいさつ</li> <li>4 自己紹介</li> <li>5 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域密着型サービス事業について &lt;資料 1 &gt; <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域密着型サービス事業所の指定状況</li> <li>②平成 29 年度給付実績 &lt;資料 2 &gt;</li> <li>③第 6 期介護保険事業計画実績報告 &lt;資料 3 &gt;</li> <li>④第 7 期介護保険事業計画 施設整備 &lt;資料 4 &gt;</li> </ol> </li> <li>(2) 地域包括支援センター運営について <ol style="list-style-type: none"> <li>①栗東市地域包括支援センター設置状況 &lt;資料 5 &gt;</li> <li>②平成 29 年度事業実績報告 &lt;資料 6 &gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域包括支援センターの事業実績報告</li> <li>・会計報告について</li> </ul> </li> <li>③平成 29 年度地域包括支援センター運営事業評価表 &lt;資料 7 &gt;</li> <li>④平成 30 年度栗東市地域包括支援センター運営方針 &lt;資料 8 &gt;</li> <li>⑤平成 30 年度栗東市地域包括支援センター事業計画 &lt;資料 9 &gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・収支予算について</li> </ul> </li> <li>⑥介護予防・介護予防ケアマネジメント 委託事業所一覧 &lt;資料 10 &gt;</li> <li>⑦栗東市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例について &lt;資料 11 &gt;</li> <li>⑧栗東市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の改正について &lt;資料 12 &gt;</li> <li>⑨平成 30 年度栗東市地域包括支援センター運営協議会 年間計画 &lt;資料 13 &gt;</li> <li>⑩地域包括支援センター委託について &lt;資料 14 &gt;</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>6 その他</li> <li>7 閉会</li> </ol>

○議事録

1、開会

2、市民憲章の唱和

3、あいさつ

4、自己紹介

5、協議事項

(1) 地域密着型サービス事業について

資料1～4

委員： 市内の地域密着型について、孫の手が休止になっている理由は。

事務局： 人員不足と利用者減によるもの。

委員： 治田の里の短期入所事業も休止と聞いているが、やはり人員不足によるものか。

事務局： 利用者との関わりの中で、難しいケースがあると聞いている。また、近々再開すると聞いている。

(2) 地域包括支援センターの運営について

資料5～6

委員 総合相談の件数について、この件数は電話などあった場合に毎回カウントして出てきている数字か。

事務局： そのとおり。

委員： 葉山包括が2,216件で、栗東市包括が1,554件となっているが、葉山包括が相談が多い理由があるのか。

事務局： それぞれの包括で計算方法が異なっていた。現時点で同じ方法で計算した実績では、栗東1,591件、葉山1,105件。

委員： 総合相談の受けた結果、介護保険につながった件数はどれだけあったか。

事務局： そういった件数を計算をしていないが、感覚的には多くつながっている。

委員： 未来ノートを3,000冊作成したとのことだが、どういったところに配布したのか。

事務局： 老人クラブに2,000冊を配布。市民の協力を得たので介護者の会に70冊。栗東ファザーズクラブに40冊配布した。今後は生き方カフェや出前講座で地域看護連絡会協力のもと一緒に書きながら配布していきたい。

委員： 老人クラブでは一緒に書かなかったのか。

事務局： 配布のみ。

#### 資料7

委員： 葉山地域包括支援センターの苦情対応について、苦情は無かったのか。

事務局： なかった。

委員： ケアマネジャーや介護事業所からの苦情はなかったのか。

事務局： 対応としての話かと思っている。

事務局： 評価表の見方について、評価は質的な評価なのか量的な評価なのか。

委員： 質・量ともに混じっている。

評価項目詳細には複数項目があげられているが、評価はそれぞれの評価ではなく、評価項目全体でありわかりにくい。

事務局： 国でも地域包括支援センターの評価を実施するようにいわれており、評価を実施したばかりのため、評価方法、評価内容について検討していきたい。

#### 資料8～9

委員： 行方不明になった認知症の方がいた場合、栗東市では関係機関に情報提供を行っているのか。

事務局： 行方不明になられる恐れのある方に対して、事前登録事業を実施している。事前にどの範囲まで情報を発信するか選んでもらい、実際に行方不明になった場合に、例えば防災・防犯情報配信システム登録者にメール配信するなど実施している。

委員： 地域の中で認知症の人が増えている状況を実感しており、初期集中支援チームなどが関わってもらえることは非常に良いことだと思うが、横とのつながりをもった支援をお願いしたい。横のつながりというのは、専門職の方が認知症の方と関わったときに、詳しい内容まではよいが、民生委員などに方向性などの結果報告がほしい。

事務局： 承知した。

#### 資料10～14

委員： 地域密着型サービス事業について改めて質問したい。地域密着型通所介護への指導において、報酬請求について返還を求めているが、口頭指導だけなのか。返還となると文書指摘になるような重たい指導になるのでは。

事務局： 宿泊サービスについては、県が指定しており、市としては口頭で指示した。

委員： 実地指導で、書類の保存年数が5年に改めるよう指導している。国の法律は2

年であり、現場の人間は知らない人が多いのではないか。

事務局：書類の保存年数については、条例を改正して指摘している。貴重な意見をいただいたので、サービス事業所に周知したい。

6、その他

7、閉会